

子どもたちの「今」と「これから」の 豊かな生活を支えるPTA活動

広島大学附属東雲中学校
特別支援学級(3組)



発表の流れ

1. 東雲中学校・特別支援学級について
2. PTA活動の概要
3. 子どもたちの「今」と「これから」を支えるために

1. 東雲中学校・特別支援学級 について

附属東雲中学校

学校教育目標

共生社会に生きる主体として
自立的・協働的に学び育つ生徒の育成

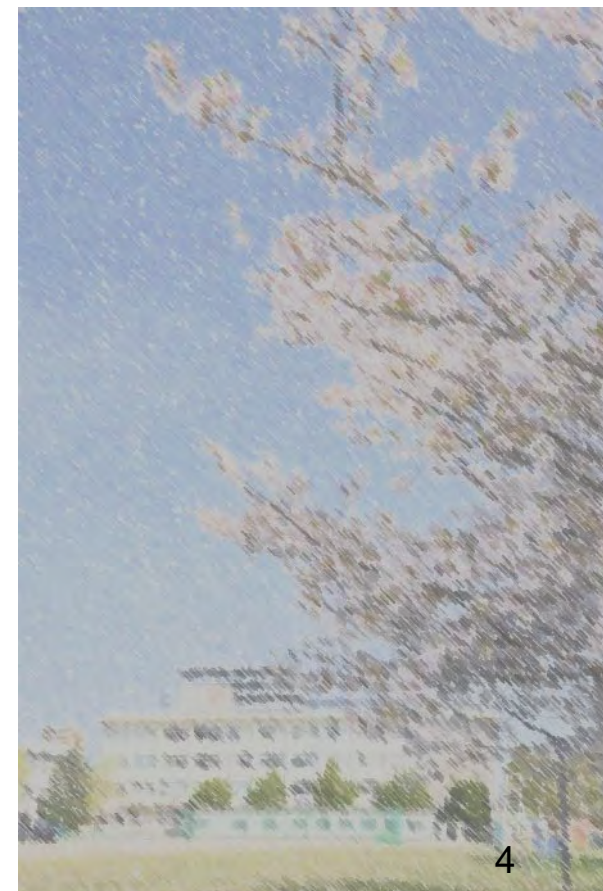
生徒数

	男子	女子	計
1年	38	46	84
2年	39	43	82
3年	41	43	84
計			250

R7.8. 1時点

設置学級

- ・通常学級(各学年2学級)
- ・知的障害特別支援学級(各学年1学級) 計9学級



附属東雲中学校 特別支援学級(3組)

3組で大切にしていること

- 集団の中で学び合う
- 自分で考え、判断して表現する
- になりたい自分を思い描く



生徒数

	男子	女子	計
1年	2	2	4
2年	2	3	5
3年	1	4	5
計			14

R7.8.1 時点



附属東雲中学校 特別支援学級(3組)

出身小学校・通学方法

	東雲小学校	公立小学校	通学方法	人数
1年	0	4	徒歩	1
2年	1	4	バス(乗り換えなし)	2
3年	1	4	バス(乗り換えあり)	4
			バス+JR	1
			JR(乗り換えなし)	5
			JR(乗り換えあり)	0
			JR+市内電車	1
計	2	12		
	14			

進路状況

進学先		R4	R5	R6
進学	特別支援学校高等部(内、職業コース)	3(2)	4(2)	3(1)
	高等専修学校	0	1	1
	通信制高校(内、サポート校)	1(1)	0	0
就職		0	0	0
施設		0	0	0
計		4	5	4

2. PTA活動の概要

特別支援学級(3組)のPTA活動

PTA活動の具体

学校全体の役割

- ・学年委員長
- ・学年副委員長
- ・生活部
- ・文化部
- ・監査、選考委員

3組での役割

- ・東雲 親の会
- ・親睦会
- ・3組保護者機関紙
かがやき作成委員

- 生徒の学校生活が豊かになるよう活動に取り組む。
- 保護者同士がつながるための情報交換の場になっている

特別支援学級(3組)のPTA活動

学校全体の役割

学年委員長 学年副委員長	・学年の活動の計画や運営 ・次年度役員の選考委員委員を兼ねる ・会員相互の親睦と理解を深めることにより、学校に協力する。
生活部	・制服提供会、PTA講演会の運営 ・生徒指導や環境の充実について、学校に協力する。
文化部	・芸術鑑賞会、機関紙「東雲」の発行 ・生徒の情操の深化を図り、広報活動を行って学校に協力する。
監査 ・ 選考委員	・PTA会計の監査 ・2月の選考委員会に出席し、PTA新会長等を選考する。

特別支援学級(3組)のPTA活動

3組での役割

東雲 親の会 との連絡係	青年学級・親の会の合同行事での弁当注文の集約補助などをおこなう。 ・6月 進路を語る会 ・10月 合同運動会 ・12月 交流発表会
親睦会	保護者ランチ会の企画と運営 3組の卒業を祝う会での記念品・花束の準備をする。
3組保護者機関紙 作成委員	3組保護者機関誌(かがやき)を作成する。

3. 子どもたちの「今」と「これから」 を支えるために

東雲親の会・青年学級

青年学級

- ・昭和45年(1970年)に開級。
- ・中学校の卒業後のアフターケアを目的に開級された。
- ・月1回の活動を実施。(社会生活に関連のある内容の学習やレクリエーション、旅行など)
- ・学級運営や役員の選出、年間の行事決め等は、親の会の支援を受けながら
青年学級生が中心となっていく。

東雲親の会

- ・昭和43年(1968年)に結成。
- ・障害のある子どもたちの卒業後のこと、将来への対応と親の思いを
打ち明ける場、親子の交流の場として、結成された。
- ・主に青年学級の活動を支援し、親の会だよりなどの制作をしている。

進路を語る会（中学生バージョン①）

中学生が青年学級生にインタビュー

- ・進学先の学校生活
- ・社会人の仕事の様子
- ・給料の使い方 など



進路を語る会（保護者バージョン）

卒業生保護者と小中学生保護者が語り合う

- ・親の会（卒業生保護者と小中学生保護者）で子どもの進路について語り合う。
- ・幅広い世代の子をもつ親同士の交流ができる
- ・「東雲中」という共通点があり、発達過程が似ている子をもつ親同士
⇒踏み込んだ質問がしやすい
⇒具体的な助言が得られる
- ・住んでいる地域が近いので、その地域の最新情報を共有できる
(医療施設、福祉制度、就労支援など)



保護者研修会

就労先の見学 ・ 制度についての研修

R4年度	就労移行支援事業所、一般就労(広島大学)
R5年度	能力開発校、B型事業所、グループホーム
R6年度	一般就労(銀行)、障害者就業・生活支援センター
R7年度	A型事業所、年金事務所



子どもたちの「今」と「これから」の 豊かな生活のために

成 果

「今」を支える

- ・全保護者が役割をもつ ⇒ 同学年・異学年の保護者と話すことができる
- ・ランチ会・3組行事 ⇒ 保護者同士のつながりをつくることができる。
- ・「親の会」との交流で、幅広い世代の保護者とのつながりができる

「これから」を支える

- ・進学先での生活や就労後の生活などをイメージできる
- ・「親の会」「青年学級」のおかげで、卒業後も親と子の居場所ができ、
精神的安定が得られる
- ・お互いに相談や助言ができる

子どもたちの「今」と「これから」の 豊かな生活のために

課 題

「今」を支える

- ・横のつながり: 同級生の親同士のつながりを密にしておくこと
- ・縦のつながり: 異学年の保護者と話す時間や場の設定

「これから」を支える

- ・親の会の参加保護者の固定化
- ・親の会役員の負担
- ・今後も運営を継続していくための工夫(負担の少ないやり方、内容など)